

様式第10号(第6条関係)

令和6年3月31日

西条市長 玉井敏久 殿

会派名 西条自民クラブ
経理責任者 川又 由美恵

令和5年度政務活動費収支報告書

西条市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条の規定により、下記のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入(政務活動費) 2,160,000円

2 支出 1,857,170円

内訳

(単位:円)

科目	金額	備考
研究研修費		
調査旅費	1,857,170	鳥取県鳥取市ほか
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
事務費		
その他の経費		
合計	1,857,170	

3 残額 302,830円

注 備考欄には、主たる支出を記入してください。

この報告書には、支出が明らかな領収書等の証拠書類を添付してください。

支 出 伺

令和5年11月10日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代 表 者 印	経理責任者印	請求者	楠	學	
令和5年度					
科 目	☐ 研究研修費 ☒ 調査旅費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ その他の経費				
金 額	703,750 円				
対象者氏名	伊藤孝司、武田 功、楠 學、一色輝雄、行元 博、坪井 剛、佐伯利彦、川又由美恵、藤井武彦、高橋 保、三好和彦、塩崎雄大				
支出内訳	1. 調査期間 令和5年11月13日(月)～11月15日(水) 2. 調査場所 鳥取県鳥取市議会・境港水産事務所 3. 調査人員 12名 4. 予算支出額 旅費12名分 346,800円…① バス借上料 356,950円…② 5. 政務活動費から支出する額 上記 ① + ② = 703,750円				
支出年月日	令和5年11月10日				
金銭出納簿 記載済印	川又由美恵				

○バス借上料

領 収 証

西条市議会 西条市民クラブ

様

No.

1117

★

¥ 356,950.-

但

1/13~1/15 (お休みの日) 西条市立図書館

5年 11月 27日

上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税別・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税別・税込)
%	消費税額等

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

株国際旅行 西条営業所

〒793-0065

西条市榑木46-1

TEL・FAX

0897-55-1497



(議事)		局長	課長	副課長	係長	係長	係	係
決裁 ・ 供 関	決裁年月	所管: 議事	指示内容					
		合議・供関先	出張報告書					
	文書分類							

令和6年1月4日

西条市議会議長
坪井 剛 殿

出張者

西条自民クラブ
楠 雄大
塩崎 和彦
三好 保彦
高橋 武彦
藤井 美恵
川又 利彦
佐伯 剛
坪井 博
行元 輝雄
一色 功
武田 司
伊藤 孝

政務活動費による出張の概要を、下記のとおり報告します。
記

出張先	鳥取県鳥取市、鳥取県境港水産事務所
出張期間	令和 5 年 11 月 13 日 ～ 令和 5 年 11 月 15 日 3 日間
出張用務	会派視察研修
概要報告	鳥取県鳥取市「クラウドファンディング型ふるさと納税について」 鳥取市は、鳥取市市政改革プラン（第7次行財政改革大綱）において、質の高い市民サービスの提供と効率的な行政経営の両立を目的とし、目的実現のための改革の3つの柱の1つ、将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立するため、令和2年度より「新たな財源の創出」のための施策の1つとして、クラウドファンディング型ふるさと納税の活用を検討し、令和5年度より3事業について募集を開始した。 クラウドファンディング型ふるさと納税は、通常のふるさと納税とは異なり、事業に対して寄付を募り、新しい財源を確保していくものである。 多くの行政課題があり、限られた財源の中で優先度の高い事業から実施し、その中で関心のある課題の解決へ直接寄付が可能であり、事業に賛同された市内外の方に寄付をしていただくことにより、今までできなかった事業に着手することができ、市の取組を広くPRできることに強みを持っている。 鳥取市においては、活用基本方針として、対象事業は ①地域課題の解決や、地方創生の推進のために実施する事業 ②多くの人から共感、賛同を得られることが見込まれる事業としている。 なお、事業費の一部のみの募集も可能とし、対象事業を決定し、予算請求し、当初予算として予算成立した後、募集を行うため、目標達成しない場合も事業は実施ができる。また、民間の事業者のポータルサイトを活用し、6～8月または10～12月の最長で3か月間、ふるさと納税の集中期に募集を行い、目標金額に達したら募集を停止し、寄付金を効果的に用いる為、基本、返礼品は設けないが、PR効果の向上や、より多くの寄付金を募るために必要な場合は、事業に関連した品物・サービスに限るオリジナル返礼品をも設けることができるとしている。

西条市においても、財源確保の新たな手法として有効的であり、本市の取組を幅広く知ってもらうことにより、市そのものに興味関心を持ってもらう入口になりえると感じた。

また、鳥取市が現在、行っている鳥取城の大手門の復元に対する寄付募集のように、財源確保以外の目的として、事業の露出によりプロジェクト自体のPR効果、観光客誘致効果も得られる点においても、この事業の有効性を大いに感じた。

鳥取県境港水産事務所「海業の取組について」

鳥取県境港市の境港水産事務所を訪れ、施設の概要や取組について研修を行った。

鳥取県の整備する高度衛生管理型漁港・市場にあわせて、境漁港の魅力向上と振興を進めるため、2号上屋の一部に展示施設を整備し、水産物の水揚げやセリの様子を見学できるほか、美保湾に生息する魚を展示した展示水槽、食育イベントを開催できる調理実習室などを備えた。

また、境港水産物直売センターを改築し、令和4年4月にリニューアルオープンした。

新鮮で豊富な水産物を提供し、地域の観光資源となるとともに、地元で愛される漁協・市場を基本目標とし、境漁港見学ツアーを企画するなど、地域の方の交流人口の増加につながっている。

当市は、全国有数の水揚げ量をほこる境港と比較は難しいが、若者の魚離れ、漁業者の減少等を考え、漁港との交流人口の増加を図る取組も必要と感じた。

支 出 伺

令和6年1月9日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代 表 者 印	経理責任者印	請求者	楠	學	
令和5年度					
科 目	☐ 研究研修費 ☒ 調査旅費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ その他の経費				
金 額	1, 153, 420 円				
対象者氏名	伊藤孝司、武田 功、楠 學、一色輝雄、行元 博、佐伯利彦、川又由美恵、藤井武彦、高橋 保				
支出内訳	1. 調査期間 令和6年1月10日(水)～1月11日(木) 2. 調査場所 福島県相馬市議会 3. 調査人員 9名 4. 予算支出額 旅費9名分 702, 900円…① バス借上料 380, 020円…② 航空券キャンセル料 70, 500円…③ 5. 政務活動費から支出する額 上記 ① + ② + ③ = 1, 153, 420円				
支出年月日	令和6年1月9日				
金銭出納簿 記載済印	川又由美恵				

○航空運賃

@62, 400×9名=561,600円

領収証

西条市議会議員 楠字 様

No. 115

★

¥561,600

但

航空運賃 西条市議会議員 楠字 様

6年 1月 16日 上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等

収入
印紙

コクヨ ウケ-1097



株国際旅行 西条営業所
〒793-0065 西条市榎本46-1
TEL・FAX 0897-55-1497
登録番号 T2500001001630

○バス借上料

領収証

西条自民クラブ

様

No. 116

★

¥380,020

但

バス借上料 西条自民クラブ

6年 1月 16日 上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等

収入
印紙

コクヨ ウケ-1097



登録番号 T2500001001630
株国際旅行 西条営業所
〒793-0065 西条市榎本46-1
TEL・FAX 0897-55-1497

○航空券キャンセル料

領 収 証

西条市議会議員 塩崎雄大 様 No. 119

★ ￥ 4500

但 航空券キャンセル料

年 月 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

登録番号 T2500001001630

株国際旅行 西条営業所

〒793-0065 西条市橋本 46-1

TEL・FAX 0897-55-1497

領 収 証

西条市議会議員 柏学化 8名 様 No. 118

★ ￥ 59800

但 航空券キャンセル料 210円分(新潟→伊丹→松山往)

6 年 1 月 16 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

登録番号 T2500001001630

株国際旅行 西条営業所

〒793-0065 西条市橋本 46-1

TEL・FAX 0897-55-1497



領 収 証

西条市議会議員 坪井 剛 様 No. 120

★ ￥ 6600

但 航空券キャンセル料(往 新潟→伊丹→松山 250円)

6 年 1 月 16 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

登録番号 T2500001001630

株国際旅行 西条営業所

〒793-0065 西条市橋本 46-1

TEL・FAX 0897-55-1497

決裁・供圖	決裁年月	所管：議事係	指示内容
2/5	合議・供関先	出張報告書	
		文書分類	

令和6年1月25日

西条市議会議長

坪井 剛 殿

出張者

西条自民クラブ
楠 學
高橋 保
藤井 武彦
川又由美恵
佐伯 利彦
行元 博
一色 輝雄
武田 功
伊藤 孝司

政務活動費による出張の概要を、下記のとおり報告します。

記

出張先	福島県相馬市
出張期間	令和6年1月10日 ～ 令和6年1月11日 2日間
出張用務	会派視察研修
概要報告	福島県相馬市「小・中学生の「読解力」向上に向けた取組について」 1 取組に至った経緯について 令和2年4月教育長に就任した福地憲司さんが「子供たちがこれからのAI（人工知能）時代を生き抜いていくための力」を高めるためには、基礎的読解力が不可欠である。RST（リーディングスキルテスト）とICT（情報通信技術）を相馬市の学校教育の両輪とした“相馬モデル”を構築していきたいと取組み始めた。 2 具体的な取組内容について 令和3年8月18日、RSTの発案者、国立情報学研究所教授、新井紀子さんを招き講演会を開催、RSTの理解を深めた。 令和3年相馬市内の小学6年～中学3年生の児童生徒・教職員約1,500人がRSTを実施、基礎的読解力の実態を把握し校内研修などを通して全教職員で共有できた。日々の授業に、どう落とし込んでいくのか、授業をどのように改善していけばよいのかなどの研究が各校で実践され、子供たちの読解力向上、学力向上へとつないでいる。 RSTとはどのようなものかを、学校教育課、目黒信浩課長から次のような説明があった。 例えば、長崎県には280余りの漁港があります。という文章があるとします。この「余り」という言葉をあなたはどう解釈しますか。①280前後、②280より少し少ない、③280より少し多い。 この答えは、③ですが①と答えたり②と答えたりする人がどのくらいいるかを数値で判断します。いろいろな質問を通してRSTを行いました。そして活用問題や複数の情報を読み取り、問題を解決する力について伸び悩んでいるという課題が見られました。RSTによる客観的なデータに基づいた分析や、その分析を生かした指導がふじゅうぶんであり、指導の必要性を感じた、とされました。

3 実績と成果

令和2年市内全域の小学6年から中学3年生がRST受験、各校教員も受験。

令和2年12月～令和3年2月市内小中学校を8グループに分け、教育の為に科学研究所上席研究員、目黒朋子先生による教員研修を実施した。

令和3年度中学校区、各校での取組は共書き、音読、新聞活用コラムシート、授業づくりワークシートなど、校内研修、講習会を数多く実施した。

令和4年度事業改善のポイントとなる8つの視点で、具体的にチェック項目で示す相馬メソッドを実施した。

その結果、全国学力テストで、相馬市の小学校では国語・算数とも、正答率が全国平均を上回るようになったし、福島県学力調査でも、県平均を上回る成長が見られるようになった。

また、教科書を読んで自分で学べる子どもが増えたと、教科書と”対話”できる子どもが育って、学習への姿勢が主体的になったと、相馬市立桜丘小学校教頭、加藤政記先生は話されていました。

4 課題について

RSTの結果から相馬市の子どもたちは得意な点として図やグラフから分かることを文章と結び付けて内容を考える力が優れている。

また、言葉の定義（辞書的な意味）についての理解が高いことが分かりました。が苦手な点として指示代名詞（それ、これなど）がさすものをとらえたり、省略された主語を補って読み取ったりすることが、やや苦手である。文章をキーワードで読んだり飛ばし読みをしたりする傾向がみられるのでこの点も改善したいということでした。

5 今後の取組について

福島県教育委員会では、県下の小・中学校にリーディングスキルを活用した授業づくりを推進しようとしています。令和5年度には授業の魅力化応援プロジェクト事業『リーディングスキルを視点とした授業づくり』を行いました。推進地区として、県内唯一相馬市を指定したということです。相馬市ではRSTが成果を上げていますので、これからもトップランナーとして先進的な取り組みを続けていくと思われます。

「防災備蓄倉庫について（現地調査）」

1 施設の概要について

名称は「相馬兵糧蔵」という

敷地面積 3,873㎡

倉庫建築面積 1064.9㎡

2 備蓄されている品目

毛布、布団セット、飲料水、主食、副食、レスキューシート、折り畳みリヤカー、組立トイレ、石油ストーブ、発電機、災害時用煮炊き釜、ポリタンク

*維持管理は定期的に消防団が点検している。

*全国14自治体と災害時相互応援協定を締結している。

○課題

災害時の備蓄品もこれだけたくさんの物資を蓄えておくのは、費用の面も管理の面もたいへんな労力と経費が掛かると思われるが、災害はいつ起こるかわからない。有事の時に備えておく大切さを、後世に伝えていかなければならないと思う。

○現地視察を終えて思ったこと

この備蓄倉庫の横に殉職消防団員の顕彰碑が建っていてお花を供えて黙とうを捧げましたが、非常に心に残りました。殉職された10名の団員の崇高な消防精神と功績を永久にたたえ市民の心に残っていくと思うし、ここを訪れた人の記憶に残り防災の意識が強くなると思いました。